

議案第16号

南風原町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

南風原町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例を別紙のとおり提出する。

令和7年3月4日提出

南風原町長 赤 嶺 正 之

(提案理由)

育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び次世代育成支援対策推進法の一部を改正する法律（令和6年法律第42号）の施行に伴い、育児又は介護を行う職員の深夜勤務及び時間外勤務の制限に係る規定等を改正する必要があるため提案する。

南風原町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

南風原町職員の勤務時間、休暇等に関する条例（平成26年南風原町条例第25号）の一部を次のように改正する。

第9条第2項中「定める者」の次に「（第16条の3第1項において「配偶者等」という。）」を加える。

第10条第2項中「3歳に満たない子」を「小学校就学の始期に達するまでの子」に改める。

第16条の2の次に次の2条を加える。

（配偶者等が介護を必要とする状況に至った職員に対する意向確認等）

第16条の3 任命権者は、職員が配偶者等が当該職員の介護を必要とする状況に至ったことを申し出たときは、当該職員に対して、仕事と介護との両立に資する制度又は措置（以下この条及び次条において「介護両立支援制度等」という。）その他の事項を知らせるとともに、介護両立支援制度等の申告、請求又は申出（次条において「請求等」という。）に係る当該職員の意向を確認するための面談その他の措置を講じなければならない。

2 任命権者は、職員に対して、当該職員が40歳に達した日の属する年度（4月1日から翌年の3月31日までをいう。）において、前項に規定する事項を知らせなければならない。

（勤務環境の整備に関する措置）

第16条の4 任命権者は、介護両立支援制度等の請求等が円滑に行われるようにするため、次に掲げる措置を講じなければならない。

- （1） 職員に対する介護両立支援制度等に係る研修の実施
- （2） 介護両立支援制度等に関する相談体制の整備
- （3） その他介護両立支援制度等に係る勤務環境の整備に関する措置

附 則

この条例は、令和7年4月1日から施行する。